

## 東山魁夷館コレクション展 2024

### ■ 第Ⅰ期

4月11日（木）～6月18日（火）

連作「白い馬の見える風景」の起点となった代表作《緑響く》を中心に、オーストリアに取材した《沼の静寂》などを展示します。また、5月6日は東山の命日であることから、絶筆となった《夕星》を展示します。

### ■ 第Ⅱ期

6月20日（木）～9月3日（火）

ドイツの町に取材した《窓》、《石の窓》、《静かな町》、連作「白い馬の見える風景」から夏の景色を思わせる《水辺の朝》、《草青む》など、ヨーロッパの風景に取材した作品を中心に展示します。

### ■ 第Ⅲ期

9月5日（木）～11月12日（火）

東山が10年をかけて取り組んだ唐招提寺御影堂障壁画に関連した中国への取材から生まれた《瀧江暮色》、《桂林月夜》、《黄山雨過》を展示します。また、《秋思》、《木枯らし舞う》、《夕紅》など、世界各地の秋の風景を描き出した作品をご紹介します。

### ■ 第Ⅳ期

11月14日（木）～2025年2月4日（火）

連作「白い馬の見える風景」のうち最大の作品《白馬の森》を中心に、同連作の習作を一挙に展示します。また、冬の厳しい自然を描いた《霧氷の譜》、厳しい冬に耐える樅の若木を描いた《聖夜》などをご紹介します。

### ■ 第Ⅴ期

2025年2月6日（木）～4月29日（火・祝）

唐招提寺御影堂障壁画第一期で日本の自然を取材する中で生まれた《夕静寂》、長野県の厳しい冬の様相を描き出す《冬の旅》などをご紹介します。冬から暖かな春を迎える自然を描いた《春兆》などを展示します。